

浪曲師

東家 一太郎（あずまや いちたろう）

生年月日:1978年10月8日

東京都新宿区百人町出身 東京都練馬区在住

出身校:早稲田大学第一文学部日本文学専修 卒業



現代の日本人が忘れがちな義理人情の心を流麗な名文と巧みな声と節、話芸で伝える浪曲・浪花節。

その浪曲と三味線のあうんの呼吸に魅了され、

2007年7月、二代目東家浦太郎門下に入門。

2008年3月、島村会館 東家浦太郎の会で初舞台。

2013年6月 浅草木馬亭にて年季明け披露。

隔月で勉強会「雷門会」「努力会」、年一回集大成の会「いち・かい」を主催。

浅草木馬亭での浪曲定席に毎月出演の他、様々な舞台で浪曲を公演。

一般社団法人 日本浪曲協会 理事。

相三味線(曲師)東家美との息の合った掛け合いで、古典だけに留まらず、「シートン動物記～オオカミ王ロボ」などの新作浪曲で、浪曲の魅力を知らない世代にも親しまれる芸を目指している。

2013年2月 文化庁主催「第2回集まれ！次世代の表現者たち 選抜公演」に選抜出演。

2018年11月に主催した東家一太郎 いち・かい 第7弾「浪曲の明日」公演で、

平成30年度(第73回)文化庁芸術祭 新人賞(大衆芸能部門)を受賞。

NHK ラジオ「浪曲十八番」、NHK テレビ「浪曲特選」などに出演。

アニメ『ONE PIECE』(ワンピース)ワノ国編の最終話 第1085話「終幕！ルフィとモモの助の誓い」の浪曲パートも務める。

夢は日本全国のお客様お一人お一人に、浪曲の感動を直にお届けすること。

ホームページ <https://www.rokyoku.com/> ブログ 一太郎一日一節(ホームページ内)

演目

古典演目は、赤穂義士伝や『野狐三次』、『夕立勘五郎』などのお家芸の連続読み。相撲ネタ、人情物、合戦物、怪談話など。さまざまな時代とジャンルの浪曲作品を月1, 2本ペースで新しく披露している。

新作・創作演目は、シートン動物記シリーズ、『一太郎の浅草案内』『倶利伽羅合戦 火牛の計』、『深川七不思議』、『芝浦の動く城』などのご当地浪曲を自作。新進気鋭の浪曲作家と組んだ『父子玉』、『サツマスチューデント』などの作品にも挑む。

また、浪曲と芝居が合体した「節劇(ふしげき)」も毎年新作を披露している。